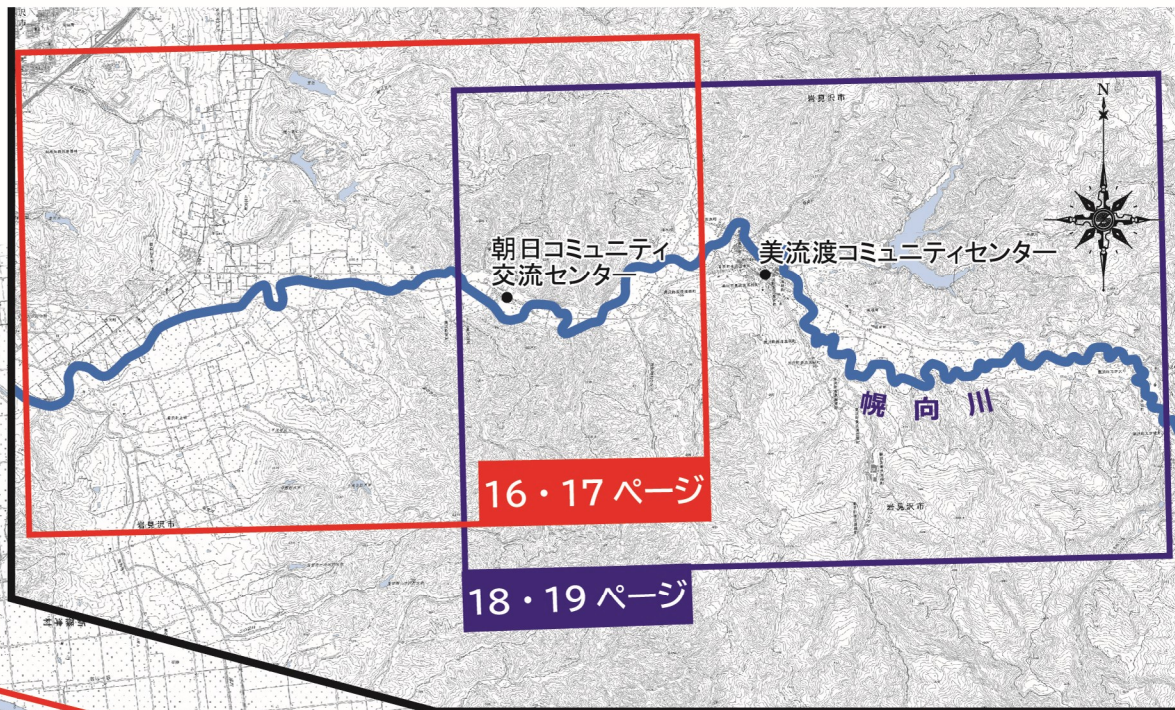


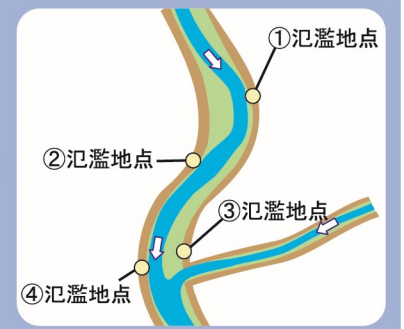
# 洪水ハザードマップ全体図



## 洪水ハザードマップができるまで

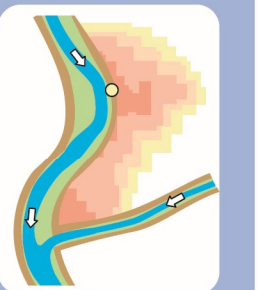
### ステップ1 氾濫地点の設定

それぞれの河川の氾濫する箇所を複数箇所設定します。



### ステップ2 浸水想定区域図

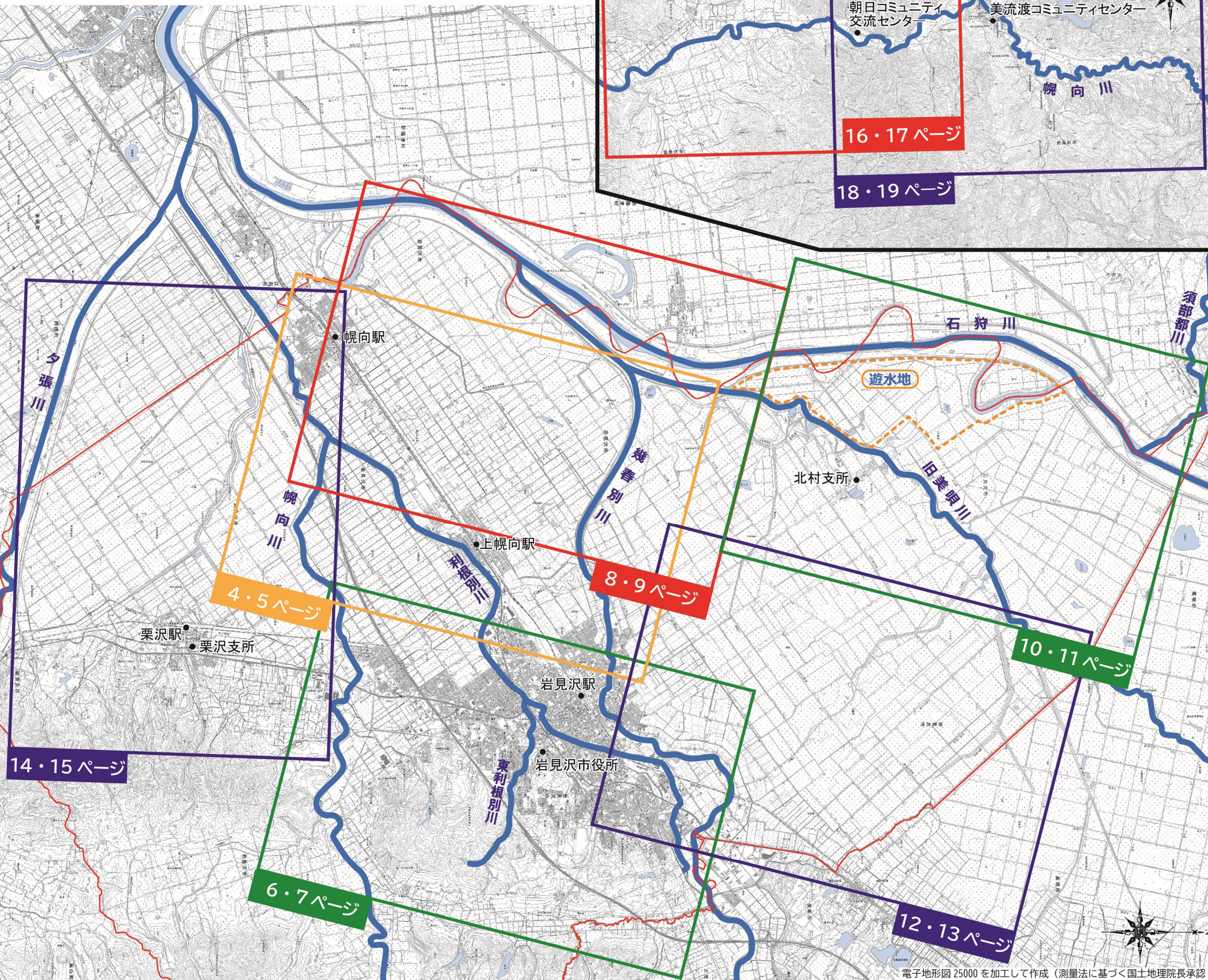
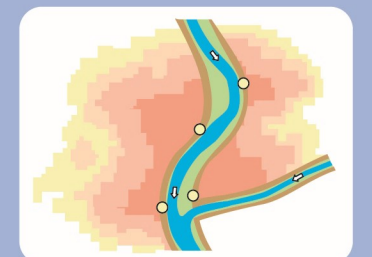
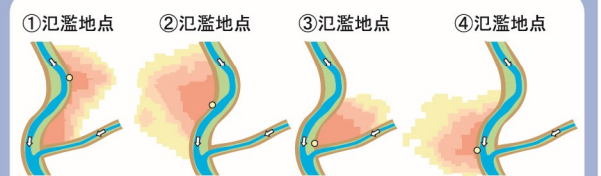
ステップ1で設定した氾濫地点で、時間経過による浸水状況を計算し、最大の浸水範囲と浸水する深さを図にします。



### ステップ3 洪水ハザードマップの完成

ステップ1の全ての氾濫地点でステップ2の作業を行い、それを重ねることで、浸水想定区域図になります。

その図を10河川分重ね、最大の浸水範囲と浸水する深さを表示し、避難所等の情報を掲載したものが、このハザードマップです。



電子地形図 25000 を加工して作成 (測量法に基づく国土地理院長承認 (使用) R 3JHs 360)